

世界平和に向けて

この一年間、世界で起きた出来事に目を向け、希望の光を届けられるよう、毎月具体的なテーマに沿ってオンラインによる祈りの集いを開催しました。



アフガニスタン政権崩壊、タリバンが復権、私たちの支援がはじまる



駐留米軍の撤退により再びタリバンがアフガニスタン全土を掌握し始め、現地からは悲痛な助けを求める声がシナピスに届き始める。外務省、在外日本大使館へ救出を求めて連絡を取り始める。アリさん一家、ロキアさん一家を含む5家族の支援を始める。



政府機関、銀行、商店などがすべて閉まり、夜になるとタリバンが女性や子どもを誘拐する事件が多発し、私たちが支援している家族は命の危険を感じ国外へ避難することを模索し始める。隣国イランや、パキスタン入国を目指しパスポート取得やビザ取得に奔走する。日本では引き続き外務省に退避者として取り扱ってもらえるよう日々電話相談をする。

アフガニスタンの人々のいのちが守られ平和が来るように祈りの集いを始める

集いの当日は偶然にも米軍がタリバンを攻撃するきっかけとなった2001年N.Y.同時多発テロ9.11から20年後の9月11日だった。国内外から多くの参加者と一緒アフガニスタンの人びとのために祈りをささげた。

10月 アフガニスタン人の声を聞く

20年前実際にタリバンの恐怖を体験した方の証言を聞き、恐怖の中で生活しているアフガニスタンの人びとが希望を見失わないように祈りをささげた。

11月 死者の月

シナピスと関わりがあったアフガニスタンで犠牲になられた方のお名前を読み上げ犠牲者一人一人を思い浮かべて祈りをささげた。

オミクロン株蔓延・新規外国人入国停止

隣国イランやパキスタンへ短期滞在ビザで退避していたアフガニスタン人家族から「ビザが切れてしまう、助けて欲しい」と連絡が入り始める。日本側でも外務省や在外公館の助けによりビザ発給の可能性が見えてきた矢先、オミクロン株蔓延防止のための政府水際対策で11月30日から新規外国人の入国が停止されてしまう。

12月 平和を願う

フリージャーナリストの西谷文和さんがアフガニスタン現地通訳を通して入手した写真や動画で現状を伝えてくれる。引き続き現地や退避国で助けを待っているアフガニスタン人の人びとが希望を見失わないように祈りをささげた。

1月 宗教を超えて祈る

アフガニスタンの人を思い、イスラム教の祈り「分け隔てなく宗教に関わらず、世界のどこにいても神は私たちを守り平和に導いてくださる」という内容のコーランをささげてもらった。

2月 病者のために祈る

猛威を振るう新型コロナウイルス感染症に罹患した方の話を聞き、世界中の病者、医療従事者、そのご家族のため、そしてみんなのいのちと平和が守られるよう祈りをささげた。

ロシアがウクライナへ軍事侵攻

2月24日、ロシアがウクライナへ軍事侵攻を開始する。この日から、居てもたってもいられないという方々から祈りをささげたいという声が届き始める。

停戦を願い祈る

200人以上の海外や日本国内の人びととウクライナのため、世界中で戦争によって苦しむ人びとのためにスペイン語、英語、日本語の3か国語で祈りをささげた。



学びと祈りの集い

軍事侵攻、疫病、自然災害など社会で起こる出来事に向き合って正しく学び、平和な社会を実現させるための知恵と行動する力を願い求め祈りをささげた。

ロキアさん シナピススタッフとして始動

関東在住アフガニスタン人のための相談支援活動を始める。

6月 本土復帰50年の沖縄を思う

辺野古新基地建設問題、遺骨土留問題、沖縄の平和に関する思いを宗教、年齢、地域を超えて分かち合い祈った。

7月 みことばから平和を考える

平和の作り手になるとはどのようなことか、またそうなるために願い祈りをささげた。

9月 いのちに向き合う

科学が進歩する今日の私たちの「いのち」のあり方を考え祈り、聖歌を歌い、神を賛美した。

10月 人類の一致を願って

ロザリオの祈りをささげた。諦めずに聖母により頼むことを教えられた。



3月 東北へ思いをはせる

東北、東日本大震災の被災者のために祈りをささげる。11年前に起こった大震災は引き続き私たちが主体的に取り組んでいくべき社会問題であることを再確認する。

アフガニスタン人家族、来日

パキスタンで避難生活を送っていたロキアさん一家に日本のビザが発給され、家族4人で来日。日本国内支援を始める。

4月 十字架の道行き

十字架の道行きをテーマに、十四留の黙想をイエス・キリストの受難の生涯に合わせ現代社会における意向で祈りをささげた。

5月 聖母マリアにより頼む

戦争、災害、疫病で苦しむ人のために聖母マリアの取次ぎを願いロザリオの祈りを英語と日本語でささげた。



辺野古海上での抗議活動

8月 平和旬間に祈る

教皇ヨハネ・パウロ2世の平和アピールを広島教区司祭と一緒に味わう。「平和を宣教する人であるべき」という意味を分かち合った。

11月 死者のために祈る

この一年間の出来事を振り返り、亡くなった方、またご遺族のために祈りをささげた。

↓ キ リ ト リ 線 (下記の破線で切り取ってご使用ください) ↓

この受領証は、郵便局で機械処理をした場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

ご注意

この払込書は、機械で処理しますので、口座番号及び金額を記入する際は、枠内に丁寧に記入してください。

また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

(郵政事業庁)

この払込取扱票の裏面には、何も記載しないでください。

シナピスでは毎月ニュースを発行しています。

シナピスの活動は皆様のご寄付で運営しています。活動の内容は是非ニュースをご覧ください。

シナピスニュースご希望の方は、こちらまで

TEL : 06-6942-1784
FAX : 06-6920-2203
E-mail : sinapis@osaka.catholic.jp
* ホームページ
<https://sinapis.osaka.catholic.jp/>

無料